

手続補正書

(法第11条の規定による補正)

特許庁審査官 岩井 健二 殿

1. 國際出願の表示 PCT/JP03/10567

2. 出願人

名称 日本電気株式会社

NEC CORPORATION

あて名 〒108-0014 日本国東京都港区芝五丁目7番1号

7-1, Shiba 5-chome, Minato-ku, Tokyo 108-0014 JAPAN

国籍 日本国 JAPAN

住所 日本国 JAPAN

3. 代理人

氏名 (6538) 弁理士 山下 究平

YAMASHITA Johei



あて名 〒105-0001 日本国東京都港区虎ノ門五丁目

13番1号 虎ノ門40MTビル

山下国際特許事務所

YAMASHITA & ASSOCIATES, Toranomon 40th MT Bldg.,

13-1, Toranomon 5-chome, Minato-ku, Tokyo 105-0001 JAPAN

4. 補正の対象 請求の範囲

5. 補正の内容

- (1) 請求の範囲第1項乃至第6項、及び第10項乃至第15項を削除する。
- (2) 請求の範囲第52頁を削除する。

6. 添付書類の目録

- (1) 請求の範囲第53頁、第54頁及び第55頁

6. (削除)

7. レーザ光の照射によって記録及び再生が可能な複数の記録層を有する光学情報記録再生媒体に対して、データの記録を行う光学的情報記録方法において、

一の記録層でデータの記録を行う際に、記録層管理情報を用いて該一の記録層よりもレーザ光入射面から近い他の記録層の記録状態を調べ、記録状態を調査したエリアにデータが記録されている部分と記録されていない部分とが混在する場合、前記一の記録層のデータを記録するエリアを別のエリアに移動することを特徴とする光学的情報記録方法。

8. レーザ光の照射によって記録及び再生が可能な複数の記録層を有する光学情報記録再生媒体に対して、データの記録再生をおこなう光学的情報記録再生方法において、

一の記録層でデータの再生を行う際に、記録層管理情報を用いて該一の記録層よりもレーザ光入射面から近い他の記録層の記録状態を調べ、記録状態を調査したエリアにデータが記録されている部分と記録されていない部分とが混在する場合、該記録されていない部分にダミーデータを記録した後に、前記一の記録層でデータの再生を行うことを特徴とする光学的情報記録再生方法。

9. レーザ光の照射によって記録及び再生が可能な複数の記録層を有する光学情報記録再生媒体に対して、データの記録を行う光学的情報記録方法において、

一の記録層でデータの記録を行う際に、記録層管理情報を用いて該一

の記録層よりもレーザ光入射面から近い他の記録層の記録状態を調べ、記録状態を調査したエリアにデータが記録されている部分と記録されていない部分とが混在する場合、該記録されていない部分にダミーデータを記録した後に、前記一の記録層でデータの記録を行うことを特徴とする光学的情報記録方法。

5

10. (削除)

11. (削除)

10

12. (削除)

13. (削除)

15

14. (削除)

15. (削除)

5

16. レーザ光の照射によって記録及び再生が可能な複数の記録層を有する光学情報記録再生媒体に対してデータの記録を行う光学的情報記録装置において、

少なくとも、該記録層の記録状態を示す情報を少なくとも含む記録層
10 管理情報を再生する手段と、データの記録を行う記録層にレーザ光を集光する手段と、前記集光する手段によって一の記録層でデータの記録を行う際に、前記再生回路で再生された記録層管理情報を用いて前記一の記録層よりもレーザ光入射面から近い他の記録層の記録状態を調べ、前記記録を行うエリアの上部に重なる前記他の記録層のエリアの記録状
15 態に基づいて、記録のレーザ光出力の設定を変更するレーザ光パワー切

20

25